



研究所だより



令和2年度 第1号
令和3年1月21日
室蘭市教育研究所
TEL 22-5059

室蘭市教育研究所 所長 高田 裕之

市内各校の校長先生をはじめ教職員の皆様におかれましては、これまで当研究所に対しご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

思い起こすと今年度のはじまりは、教職員の皆様は「いよいよ新学期の開始！」と、学校再開を心待ちにしていたことと思います。しかし、その後も度重なる臨時休業があり、叫ばれたのは「ステイホーム！」でした。春、私はいくつか学校へ訪問させていただきました。その際に学校全体で、「絶対ウイルスに感染させない」と真摯に向き合っている皆様の姿を、拝見することができました。さらに各校では日々、我慢を強いられている子どもたちのために、心身の観察や学習課題作成等を行っていました。その多様な取組は、それぞれにおいて知恵を出し合い工夫のもとで、汗を流し行われているものと拝察いたしました。

さて、文部科学省は児童生徒への1人1台端末と、高速大容量ネットワークの整備（GIGAスクール構想の実現）を急ピッチで進めています。忘れてはならないことは、ICT整備は手段であり目的ではないということです。子どもたちが、豊かな創造性を備え、未来社会（Society 5.0）を自立的に生き抜くための資質・能力を育成していくことが求められています。

当研究所といたしましては、ICTを活用した子どもたちの学びを積極的にサポートする取組を始めました。「むろらん家庭学習応援プロジェクト」のサイトを立ち上げています。ここからは学習プリントや動画（運動・実験）が次々と発信されています。まだまだ小さな一歩かもしれませんが、しかし、「子どもたちの学びのために」を合い言葉に、教職員の皆様や関係者、各企業のご努力ご協力で拠る大きな結晶です。

これまで通り、教育相談部（学校適応指導教室）におきましては、子どもたちと保護者の悩み相談や子どもたちの学校復帰まで、学校と連携を図り支援に努めてまいります。

今後も、皆様方からのご意見をいただきながら、当面、限られた中で「室蘭市の教育水準の向上に資する」教育研究所としての役割を果たしていけるよう、努力してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、子どもたちは、これから厳しい挑戦の時代を生き抜くこととなります。どうか今を少しでも楽しく、共に過ごせることを切に願います。1日でも早く、元通り友だちと肩を並べ、対話しながら学べること、さらに子どもたちと教職員、地域に笑顔が咲きあふれ、喜びが香ることを願わずにはられません。

「オンデマンド研修講座」受講のお礼 (12.3~1.22)

この度の「オンデマンド研修講座」では、200名を超える市内の先生方にご参加ご視聴をいただきありがとうございました。お寄せいただきました感想等を紹介いたします。

- 1 講座の開催方法について 妥当だった (100%)
- 2 内容が整理され、分かりやすい内容であった (84.2%)
- 3 具体的な操作や準備、活用例を知りたい。(58%)

新年度からのICTを活用した授業への関心が、とても高いことが分かりました。3学期中から新年度当初に、裏面のとおり「研修動画クリップ」をリリースする予定です。

視聴方法につきましては、後日連絡いたしますのでご活用ください。



◆今年度・次年度当初の研修動画クリップ リリース予定（5～10分程度）

期 日	内 容
1月29日(金)	「Gドライブ」の使い方 ①保存先 ②アップロード・ダウンロード方法 ③共有 Office スイートの使い方 ①基本的な使い方 ②ファイルの共有 ③協働編集
2月12日(金)	「Google フォーム」「Google ジャムボード」の使い方
2月26日(金)	「Google クラスルーム」の使い方
3月12日(金)	「Chromebook端末」の使い方など ①ログイン/ログアウト ②アプリの起動 ③ファイル管理 ④カメラ ⑤手書き
4月 2日(金)	「室蘭市クラウド活用ガイドライン」について
4月23日(金)	「Google ミート」(ビデオ会議システム)の使い方
5月28日(金)	「YouTube I」①アップロード ②管理 ③共有
6月25日(金)	「YouTube II」①動画編集